

英語多読で、英語の直読直解能力を高めよう

古川昭夫 2017/10

英語を話せるようになりたい、英語を書けるようになりたい、英語の試験で高得点を取りたいと思う中高生は多いと思います。そのために、普通の英語学習以外にどんなことをするのが一番よいと思いますか？

話す能力や書く能力、試験での得点力を上げるには、会話訓練、Writing 訓練、試験問題の類題演習をすることや、文法を学ぶこと語彙を覚えることもたしかに必要ですが、しかし、残念ながら、それらを嫌々やっても大きな効果はあがりません。

気楽にできて、しかし、長期間続ければ、必ず高い効果があるのが、辞書をできるだけ引かずに、できるだけ日本語に訳さず、英語を大量に直読・直解で読む、英語多読です。英語を大量に読むと、読んだ英語の表現が無意識のうちに記憶され、英語で考える脳がちょっとずつできてきます。すると、読んでいるだけで、Listening 力、Speaking 力、Writing 力も上がり、4 技能すべてを伸ばしていくのです。

しかし、そのためには、「日本語に訳さず大量に読む」ことが必要です。

日本語に訳さず、大量に読むためには、次の 3 つのことが大事です。

1 辞書無しで読んで大意がわかるものをどんどん読む

辞書を引くのは多くても1冊につき3語までにしましょう。それ以上引いていたら、読書を楽しむことはできません。もちろん、1回も引かなくてもかまいません。英文を一語一語読んでいくのではなく、意味のまとまりとして読んでいくことができはじめて読書を楽しむことができます。

分からない単語や表現は、辞書を引くのではなく、前後の文脈から想像しましょう。Oxford Reading Tree などの現地の子供の教育用に作られたシリーズや、英語学習の初級者向けに作られた Foundations Reading Library, Building Blocks Library, Oxford Dominoes Starter, Pearson English Readers Easystarts, Macmillan Readers Starter, Cambridge English Readers Starter などのシリーズは、イラストが豊富なので、分からない表現もイラストで推測できることが多いでしょう。

2 最初のうちは、同じ本を2度、3度と読む

また、短い絵本・リーダーの場合、1回で読んで、どうも内容や、表現が理解できない場合、同じ本を、再読する、あるいは、再再読するというのも良い方法です。1回目では、良く理解できなかった表現も、全体のストーリーの流れをつかんで読むと、意味が分かってくることが多いのです。

読む速さは、最終的に分速 200words 位で読めるようになるようになるのが理想です。ハリー・ポッターの朗読が分速 170-180words ですから、分速 180words 位で読めないで聴いてわかるようにならないからです。しかし、初期の段階(多読開始後 200 万語以内)では、分速にこだわらない方が良いと思います。分速 80-100words で読んでいても、十分楽しめるとの報告が多数寄せられています。速さよりも理解度が大事です。多読といっても、大意が分からないで読んで効果はありません。

3 ちょっとずつレベルを上げる 辛かったらレベルを下げる

どうしても、レベルを上げるのを急ぎがちですが、理解度が低いものをいくらたくさんよんでも、効果は上がりません。英語力の伸びは、(読んだ英文量)×(理解度の4乗)という説もある位で、理解度が8割~9割で読むのが理想です。あるレベルの本を理解度9割以上で、十分な速さで読めるようになってから、上のレベルの本に移りましょう。レベルを上げた時には、理解度が7割位に下がり、読書速度もやや遅くなるのが普通です。再び、理解度が9割を越し、読書速度も十分な速さで読めるようになったから、また、レベルを上げるようにしてください。また、ちょっと、無理だと思ったり、疲れている時は、堂々とレベルを下げましょう。そして、まずは、30万語の読書を目指して下さい。

普通の学習法では、指定されたテキストを読まなければいけません。多読による学習法の良いところは、ある程度の長さが読めるようになってきたら、自分の好きな本を、好きな順番に、自分に固有のペースで読めるということです。また、読書後に試験も無いし、読書感想文を書く必要もありません。自分で分かって楽しめれば良いのです。楽しんで読書をすることによって、生の英語が自然に脳の深層に蓄積していきます。

しかし、自分の好きな本を読める英語力が無い場合には、まずは、たくさんやさしい本をしっかりと読むことが大事です。あせらず、やさしい本をたくさん読んでいきましょう。